

令和6年4月

城南学園幼稚園
園長 太田友子

令和5年度 教育評価の結果について

昨年12月実施の『教育アンケート』の結果をもとに、下記のとおり、学校関係者評価委員会を開催しました。

つきましては、教育評価の結果を別添のとおりご報告いたします。

記

城南学園幼稚園 学校関係者評価委員会

日時：令和6年3月6日（水）

会場：城南学園幼稚園 園長室

内容

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成20年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成26年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（令和5年度 敬称略）

- ・大方 美香（大阪総合保育大学 学長）
- ・菅 正隆（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・河岡 秀典（城南学園小学校 校長代行）
- ・東上 直（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）・藤井義智（事務局長）・戎島 歩（主任）

城南学園幼稚園

学校関係者評価委員会 設置要項

令和6年3月6日

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成20年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成26年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（令和5年度 敬称略）

- ・大方 美香（大阪総合保育大学 学長）
- ・菅 正隆（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・河岡 秀典（城南学園小学校 校長代行）
- ・東上 直（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）
- ・藤井義智（事務局長）
- ・戎島 歩（主任）

4. 委員会の開催

委員会の開催は年1回とする。（2月から3月にかけて）

5. 評価結果の報告と公開

- ・設置者（理事長）に報告（3月）
- ・幼稚園ホームページ（4月）に掲載

2023年度教育アンケートの結果について

表記例)


190名(99%)(+4%) 肯定的な回答の人数は190名(99%)で昨年度比(+4%)

「保護者の声」

<園の特色>

「幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感が持てる(11)」190名(99%)(+4%)で、その中で高い肯定的な回答は64%で昨年度より10%増加している。「教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている(17)」189名(99%)(+3%)で、その中で高い肯定的な回答が62%で昨年度より14%増加である。また、今年度より設定した評価項目「子育て支援として、園の「共に育てる」方針は効果的である(21)」172名(90%)で、その中で高い肯定的な回答は48%であった。

これは、園の経営方針「育つ幼稚園」のもと、「共に育てる」保護者との信頼関係づくりに努めてきた成果であると受けとめている。家庭生活と園生活との連携により、幼児期の特性を踏まえたふさわしい教育環境を実現するため、今後も(11)と(17)に注力しながら、「共に育てる(21)」関係づくりを推進していく。

 「教育理念にある共に育てるところで、担任の先生だけでなく園全体の先生方皆で子ども一人一人を見守ってくださり、家庭までサポートして下さり心強い園です。」

「先生方が明るく笑顔で声をかけてくださるので、元気もらい日々の育児への活力となっています。」

「子どもだけでなく、親まで目を配って下さるよい幼稚園だと思っています。」

<教育方針と教育力>

教育力では、まず「園の教育は、お子さんに合っていて満足している(4)」188名(98%)(+3%)で、その中で高い肯定的回答は62%で昨年度より24%増加した。次に、「総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を展開している(1)」183名(95%)(+0%)で、その中で高い肯定的な回答が44%で、昨年度より12%増加した。さらに「教育理念「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」は現代の教育課題を踏まえており、それに沿った教育活動が展開されている(2)」183名(95%)(-2%)で、その中で高い肯定的回答は51%で、昨年度より11%増加した。

評価項目(1)(2)は本園教育への期待として位置しており、満足度(4)は、その期待に応えるべく教育を実施できていると考えている。



「幼稚園から大学まであり、大学のイベントなども子どもが楽しく参加できるものが色々あって有難く思います。」

「学生さんとの触れ合いも子どもにとってよい刺激になっています。」

「子どもたちがのびのびしながら小学校につながる学びができています。」

「答えを見つけだすことや、自立に向けてしっかり導きだしていただけています。」

「子ども本来の特性を伸ばしながら可能性を引き出してきています。」

教員の指導力に関して、「教員は、子ども理解に努め、誠実に保育に取り組んでいる（15）」189名（98%）（+1%）で、その中の高い肯定的な回答は63%で、昨年度より14%増加している。

この項目は、保育者の基本的な姿勢として極めて重要である。園内研修では、適時事例をあげながら日々の実践力に活かされることをめざして実施している。教職員アンケート「園内研修は、日々の指導に活かされる内容となっているか」では、全教員が「大変満足」との評価をしている。



「教員の質が高く、責任感をもってしっかり教育をしてくれています。」

「子ども一人一人を把握されていて保育に取り組まれていてそういう意味で信頼しています。」

「個の実態を踏まえて、集団及び個別双方において適切な関わりをしてくれています。」

<教育内容>

教育成果として、子どもの成長が感じとりやすい園行事については、「園行事（内容、回数）に満足している（例）運動会、作品展、生活発表会（5）」186名（97%）（+1%）で、その中で高い肯定的な回答は62%で、昨年度より22%増加している。

行事等の目的を吟味しながら、今後もよりよい内容や実施の有り方についても引き続き模索していきたい。



「年間の行事が充実していてたくさんの経験や思い出をつくることができている。」

「宿泊行事や水泳教室など貴重な経験になっている。」

本園の教育内容「3つのからだ・こころ・ことば」の力を育てる教育活動に満足している（3）」188名（96%）（-1%）で、その中の高い肯定的な回答は49%で昨年度より7%増加している。

毎月発行の学年だよりには、3つの力について具体的な園児の姿を示して解説しており、保護者の理解も深まってきている。今後も継続して、インスタグラムで発信するなど、教育活動の「見える化」を一層推進していく。



「子どもたちの「自分でできた」を増やしてくれるようなのびのびと自分のペースで成長できる教育をしてくださっている。」

「自分の意見を発表する場面があり、しっかりと自分の意思を伝える子どもに育っています。」

「年長児になると、毎日の出来事をカードに文字や絵を使って書いているので、毎日何が楽しかったのかが伝わってきています。」

「保育の中で、体操や音楽、英語、かがくタイムなどがあり、充実しています。」

<運営力>

「教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営に努めている（12）」193名（92%（+5%）で、その中の高い肯定的な回答は46%で昨年度より5%増加した。

教職員全員で課題共有の場を重視しており、課題解決の方法等について具体的に確認している。教職員の危機管理能力については個々に応じながら組織力として高めていく。



「クラブ活動もバス通園もあり、毎日違うのに全てに対応して下さり大変助かっています。急な依頼や変更も臨機応変に対応できる先生方は素晴らしいと感じております。」

「預かりの先生もとても親切で、迎えに行った時、些細なことも報告してくれとても嬉しいです。」

<危機管理>

「避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理に努めている（13）」177名（92%（±0%）で、その中で高い肯定的な回答は46%で昨年度より5%増加している。

「Facebook、HP、LINE、インスタグラムなどの情報発信は効果的である（10）」169名（88%）（-1%）で、その中の高い肯定的な回答は40%で昨年度より11%増加している。

今年度アプリ配信やインスタグラムを取り入れて好評である。



「日常をどのように過ごしているのか気になるのですが、幼稚園の様子をインスタで見られるので楽しみにしています。」

「アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理に努めている（14）」186名（97%）（+19%）と肯定的回答が大幅に増えた。その中でも高い肯定的な回答は62%で昨年度より31%も増加した。

このように完全給食化には大きな反響があり、週1回の弁当の解消が子育て支援の一助となったようであると同時に、栄養価やメニューも含め改善・充実を図っており、子どもたちの食べる量も一層増加している。

アレルギー対応について、園内研修の最優先課題に据えて全教職員対象に実施して、安全体制の徹底を図っている。



「週5日の給食に変わったことでとても有難く思っています。今の大人はいつも時間に追われていて子どもとゆっくり向き合って話すことがしづらくなっている気がします。ただか10分のお弁当の作成時間かもしれませんが、子どもにとってはとても大切な10分。その朝の時間に心の余裕ができ、気持ちよく送り出すことができることは親子共々幸せなことだと思っています。」

<子育て支援>

子育て支援として「早朝・預かり保育に満足している」157名（82%）（+2%）で、その中で高い肯定的な回答は56%で昨年度より10%増加している。



「フルタイムで働いていても全く不便を感じず、とても満足しています。」

「預かり保育でもお弁当持参と給食の選択制が実施されて助かりました。」

「預かり保育中に課外クラブもあり、共働きでも幼稚園に通うことができよかったです。」

「バス送迎（ルート・方法）には利便性がある（9）」（88%）（-8%）である。園児の約半数がバス利用しており、今後もルートの見直しやバス停の増加等、改善・充実を図っていく。



「バス送迎が行きや帰りだけの片道を利用できればいいのと思います。課外クラブの方も多いため、バスの乗り方にも幅があってもいいのかなと思います。」

「以前バス停のアンケートで停留所でヒヤヒヤした件をお伝えしたところ、その内容をヒヤリングして下さい、停留所の変更を行うという連絡をいただき、たくさんある数の声を拾って下さり、迅速に対応して下さいましたことに感謝しております。」

<公開保育>

幼児期の教育、保育に専門的知見を有する外部有識者の協力を得て、公開保育を実施いたしました。内容は「公開保育実施報告書」のとおりです。意見としては、以下の意見がありました。

- 本園の教育について、保育者と子どもとの関係が密接で、丁寧に関わっていることが感じられる。本園では、子どもたちが先生の話落ち着いた態度で聞いており、集団生活の基本が育っていることに驚いた。
- 中国では、勉強以外の身支度や生活習慣等については大人がお世話をするという考え方が根強い。日本では、身支度や給食など生活面の自立も発達の上で重要だと考えているが、国によって教育そのもののねらいが違い、保育内容や方法に大きな違いができることに、互いに気づかされた。

公開保育により、子どもの能動性を活かした生活自立を促す日本の保育理念の価値を改めて見直す機会となりました。

<まとめ>

子ども・保育者・保護者が「育つ幼稚園」をめざし、教育方針「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育～豊かな遊びから確かな学びへ～」を掲げ、保護者の皆様とは「共に育てる」パートナーとして信頼関係の構築に努めながら、教育活動を実施してまいりました。

今回のアンケートの特徴として、全体的に高い肯定的な回答（強く思う）が増加しており、本園教育への理解が深まっていると感じています。

とりわけ注目するのは、「園の教育はお子さんに合っている（４）」198名（98%）（+3%）が肯定的で、その中で「園の教育は合っていると強く思う」では、昨年度の38%から62%へと24%も伸びていることです。

次に紹介するのは教育アンケートでいただいた保護者の声です。

今後も、子どもを真ん中にして、保育者、保護者が「共に育つ」ような幼稚園づくりに、教職員とともに励んでまいります。貴重なご意見をありがとうございました。



「インスタライブなどありのままの幼稚園を見せていただき安心するとともに、いつ誰が見ても恥じないという自信が感じられる。不祥事が多い世の中で質の高い教育を受けられていることに喜びを感じています。」



「教育理念にある共に育てるところで、担任の先生だけでなく園全体の先生方皆で子ども一人一人を見守って下さり、家庭までサポートして下さる心強い園です。」



「楽しい行事もたくさんあり親子ともども大変満足・感謝しているのですが、その分先生方の負担が大きいのではないかと勝手に心配しています。ほとんど手伝いの要請もなく、働いている方にはとっってもすごく助かる幼稚園だと思いますが、有志でお手伝いできることもあると思います。先生方の笑顔が続くようどうぞ無理をされずに声をかけてくださいね。」

城南学園幼稚園

令和5年度 教育アンケートによる教育評価

協議委員用 5名

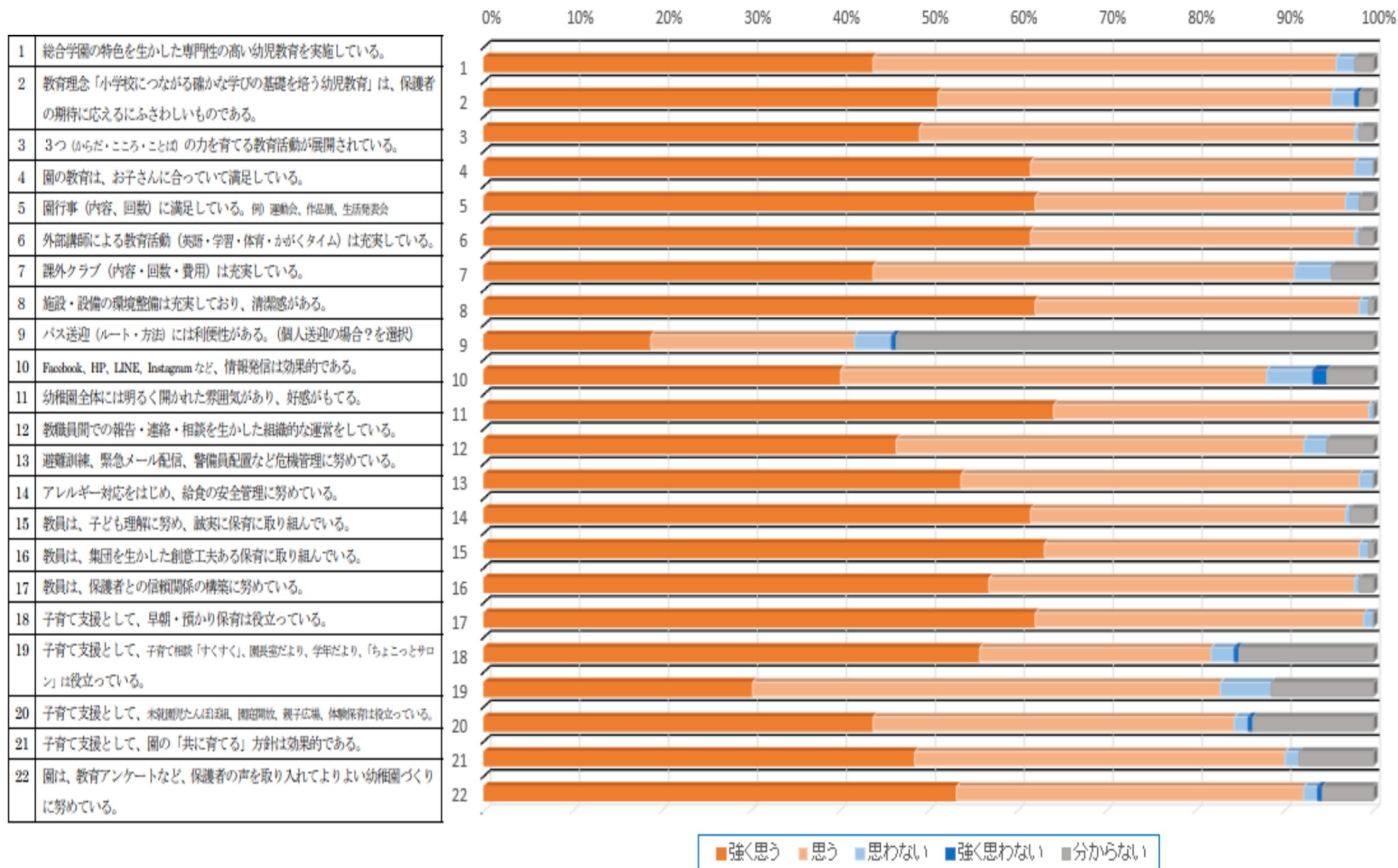
項目	評価		内容	協議委員名 [大方・菅・東上・竹内 (敬称略)]				ご意見・感想など
				A	B	C	?	
園の特色	A	A	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。(99%)	4	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、園を進化させようと、園長先生をはじめとする先生方の努力や取組を感じることができて嬉しく思います。 ・バスの価格の工夫が実現することを願っています。今年も子どもたちの元気な声が園庭から聞こえてくるのを楽しみにしています。 ・よく努力されていると思います。IT時代に合わせて全園児にタブレットを持たせるなど他園との差別化を益々図るべきだと思います。 ・入園を決めた理由は「小学校につながる」でした。給食が完全実施されたことは小学校の給食にもつながりよいと思います。「子どもが楽しい」が一番だとは思いますが、保護者や家庭の生活に変化が現れた場合、臨機応変に対応していただけると助かると思います。 ・全ての項目において肯定的回答が増加していることが素晴らしいと思いました。園長先生自らが大学院まで行かれ学びを深められた結果だと思ひ敬服しております。 ・教育内容の成果は特に直ぐに結果が出にくいものですが、熟成されてきたかと思います。 ・完全給食にされて大賛成です。保護者のご苦勞もありほっとされたと思います。 ・バスの利用の多様性に対応できるようにチケット制、半額性であるとよいと思います。「誰でも通園制度」もできますので緩やかに考えていかれたらと思います。 ・ICT化、スマホですべての手紙が見られるようにして、印刷物を減らしたりドキュメンテーションを配信したり、未来への一考を期待します。 ・保護者の参画型の取り組みを提案されたら良いかと思ひます。
教育方針	B	A	「小学校につながる」 (95%)	4	0	0	0	
		B	「総合学園のよさ」 (96%)					
		B	「共に育てる」関係づくり (90%)					
教育内容	B	A	3つの力 (98%)	3	1	0	0	
		B	外部講師による教育 (98%)					
		B	行事内容・回数等 (97%)					
運営力	A	B	報告・連絡・相談 (92%)	3	1	0	0	
		A	全教職員で対応					
危機管理	B	B	情報発信 (88%)	2	1	0	1	
		B	危機管理 (98%)					
教育力	A	A	幼児理解と誠実な保育(98%)	4	0	0	0	
		B	集団を活かした創意工夫のある保育 (98%)					
		A	保護者との信頼関係の構築 (99%)					
		B	発達差、個人差に応じた保育 (98%)					
施設設備	A	A	安全・安心な施設 (99%)	3	0	0	1	
		A	清潔・安全な整備 (99%)					
		B	車送迎によるマナー					
給食	A	A	アレルギー等への対応 ((97%)	4	0	0	0	
		A	回数・内容・量の改善					
通園バス	B	B	安心・安全な運行	1	2	0	1	
		B	利便性 (90%)					
預かり保育	B	B	安全・安心な運営 (82%)	1	2	0	1	
		B	利用方法の簡素化					
課外クラブ	A	A	種類：10クラブ	2	1	0	1	
		B	内容・回数・料金 (91%)					

	項目	内容	評価の観点	評価					
				5	4	3	2	1	?
教育力	教育計画力	園の教育理念や方針に基づいた保育計画により、保育を展開している。	園の教育理念や方針に基づいた保育計画を立て、実施後に考察・評価を加えて保育の向上を図っているか。	12	4	0	0	0	0
	ことばの力	ことばの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、絵本や話し合い活動が好きになってきているか。	11	4	0	0	0	1
	からだの力	からだの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、体を動かす遊びが好きになってきているか。	13	3	0	0	0	0
	こころの力	こころの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、挨拶・感謝・折り合うなどの心が育ってきているか。 子どもたちは、友だちとの活動に楽しさを感じるようになってきているか。	12 13	4 3	0 0	0 0	0 0	0 0
経営・運営力	組織力	チーム力を発揮する組織になっている。	園の職員会議、企画会議、学年会議は機能しているか。	14	2	0	0	0	0
			教職員は、教育方針を意識して日々の保育に臨んでいるか。	13	3	0	0	0	0
			教職員は、報告・連絡・相談を徹底して実行しているか。	11	5	0	0	0	0
			職場は、明るく開かれており、働きやすい雰囲気があるか。	15	1	0	0	0	0
	発信力	保護者や地域から「見える幼稚園」になっている。	HP・LINE・Instagram・園長室(学年)だより・写真掲示などは、「見える幼稚園」につながる方策になっているか。	14	2	0	0	0	0
			招待保育・園庭開放・体験保育は、園児募集に効果的であるか。	14	2	0	0	0	0
	連携力	城南学園の特色を生かした取り組みをしている。	小) 体験入学・模擬テスト 高) 見学との連携はできているか。	8	5	2	0	0	1
大) 教育実習・保育見学・夏祭り・クリスマス会など連携ができているか。			9	7	0	0	0	0	
安全管理力	安全・安心な環境づくりをしている。	防災マニュアルの作成など安全管理の対応は迅速・的確であるか。	12	2	2	0	0	0	
成長力	R=PDCA(自己評価システム)がある。	よりよい園づくりに保護者・教職員アンケートを活用しているか。	15	1	0	0	0	0	
人材力	教員育成	園内研修が教育目標に向けて充実している。	園内研修は、日々の指導に生かされる内容となっているか。	16	0	0	0	0	0
		園外研修が各自の成長課題に応じている。	教職員は、各自の成長課題を意識して向上に努めているか。	13	3	0	0	0	0
	幼児理解力	個に応じたきめ細やかな保育力を高めている。	担任は、幼児理解に努め、保育に誠実に向き合っているか。	12	4	0	0	0	0
	保護者対応力	信頼関係を築き、保護者対応力を高めている。	担任は、保護者と良好な(信頼)関係を築くための努力をしているか。	12	4	0	0	0	0
その他	特色ある教育活動	小学校につながる学びの基礎を培う幼児教育を豊かな遊びを通して展開している。	発達段階に応じた学びの芽生えを意識してみとり、振り返り活動で言語化や対話などにより、気づきが深まるような働きかけをしているか。	12	4	0	0	0	0
	子育て支援	預かり保育・早朝保育の充実を図っている。	園は、無償化の趣旨に則り、子育て支援の向上に努めているか。	11	5	0	0	0	0

対象：199人回答/192人（回答率96%）

実施日：令和5年12月 記名式

令和5年度 教育アンケート





公開保育 実施報告書

中国視察団 ～ ようこそ城南学園幼稚園へ ～

日 時 7月11日(火) 13時半～14時半 1時間程度 その後、短大へ養成校の講義を視察

案内者 大阪公立大学 弘田陽介先生

訪問団 中国人民大学教員 現地保育園園長

目 的 日本の幼児教育の実情視察 養成校の授業観察

本園の目的

- (大人)・本園の特色ある活動を吟味し、展開して理解を得る。
- (園児)・中国訪問団を迎え、中国に対する理解を深め、親近感を抱く機会とする。
- (園児)・中国にルーツをもつ複数の園児にとって、自国を紹介することにより、中国に対する誇りを高める機会とする。
- (園児)・日本の歌等を披露することで、日本の文化として理解を深める機会とする。

公開保育の目的

交流の目標

子どもに聴く 「中国ってどんな国?」「あいさつするけど…なんていえばいいの?」
成果物を模造紙に掲示して共有する。(材料室前)

1. 事前活動

- ・中国に対する理解を深める。ルーツを持つ園児の活躍の場があること。
- ・日本の文化として、七夕行事に関する歌や笹飾り製作を通して、意識する場があること。

2. 訪問当日 - 日程 - 案内: 戎島 (園長)

- | | | |
|-------------|------|--|
| 13:30～13:45 | し ろ組 | ・歓迎の言葉 (中国語)・歌のプレゼント 「園歌」「七夕」「虹」
・記念撮影 |
| 13:45～14:00 | みどり組 | ・振り返り活動の実際
・記念撮影 |
| 14:00～14:15 | あ お組 | ・絵本や紙芝居の読み聞かせ
・記念撮影 |
| 14:20～15:30 | 園 長室 | ・名刺交換 (園長)
・本園について説明 ・教育概要 (パンフ等 土産)
・「育つ」幼稚園 「共に育てる」
・内容の特色 メタ認知 言語活動 保育者との対話
・意見交換 |



3. 意見交換、まとめ

●参加者

- ・学校関係者評価委員 (○) 大阪総合保育大学 学長 大方 美香
城南学園小学校 校長 山北 浩之
- ・協力を得た外部有識者 (○) 大阪公立大学 教授 弘田 陽介
中国人民大学 副教授 嚴 平
- ・他の幼稚園、保育園等の関係者 (○) 北京 保育園の園長 李 明漢 ※民間保育園経営者
海南島 保育園の園長 郭 愛 ※民間保育園経営者
海南島 保育園の園長 呉 小花 ※民間保育園経営者

●本園の教育について参観並びに幼児との交流、園長による説明後に意見交換・まとめ



主なご意見

- ・本園の教育について、保育者と子どもとの関係が密接で、丁寧に関わっていることが感じられる。
- ・本園では、子どもたちが先生の話落ち着いて聞く態度が育っており、集団生活の基本が育っていることに驚いた。
- ・中国では、勉強以外の身支度や生活習慣等については大人がお世話をするという考え方が根強い。
- ・日本では、身支度や給食など生活面の自立も発達の上で重要だと考えているが、国によって教育そのもののねらいが違い、保育内容や方法に大きな違いがでることに、互いに気づかされた。

